

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
シルクロードステークス	ハンデ	GIII	中京	芝1200m	良想定	平坦	大荒れ	E

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	斤量	能力	コース	馬場	血統	展開	総合	人気	印	結果
1	ザイツィンガー	和田竜	ドリームジャーニー	ステイゴールド	クロフネ	ゲイスターゼント	55	D	C	B	B	C	D	17	消	8
2	ライトオンキュー	古川	Shamardal	ストームキャット	Raven s Pass	ミスターロビン	57.5	B	C	B	B	C	C	3	消	2
3	コントラチェック	池添	ディーブインパクト	ディーブインパクト	Halling	エタン	55	B	D	D	C	D	D	9	消	11
4	セイウンコウセイ	幸	アドマイヤムーン	ミスターロビン	Capote	ボールドルーラー	58	D	A	A	B	D	D	15	消	5
5	ラヴィングアンサー	吉田豊	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	Rock of Gibraltar	デインヒル	57	C	C	C	B	D	D	11	消	9
6	カイザーメランジェ	太宰	サクラオリオン	キングマンボ	サクラブレジデント	サンデーサイレンス	55	D	C	B	C	D	D	18	消	13
7	エイティーンガール	坂井	ヨハネスブルグ	ストームキャット	アグネスタキオン	サンデーサイレンス	55	B	B	B	B	C	B	8	消	14
8	プリモシーン	岩田望	ディーブインパクト	ディーブインパクト	Fastnet Rock	デインヒル	56	D	D	D	C	D	D	14	消	12
9	ヴェスターヴァルト	富田	ノヴェリスト	ブランドフォード	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	55	C	D	B	C	C	D	7	消	7
10	ルツジェーロ	藤岡佑	キンシャサノキセキ	フジキセキ	マキャベリアン	ミスターロビン	55	D	C	C	B	D	D	12	消	6
11	リバティハイツ	団野	キングカメハメハ	キングマンボ	Dubawi	ミスターロビン	54	C	A	A	B	B	B	10	◎	4
12	ラウダシオン	Mデムーロ	リアルインパクト	ディーブインパクト	Songandaprayer	ミスターロビン	57	B	B	C	B	B	B	2	○	3
13	シヴァージ	福永	First Samurai	ストームキャット	Indian Charlie	グレイソヴリン	56	C	B	B	B	C	B	4	▲	1
14	トゥラヴェスーラ	岩田康	ドリームジャーニー	ステイゴールド	アドマイヤコジーン	グレイソヴリン	56	C	C	B	B	D	D	5	消	15
15	モズスーパーフレア	北村友	Speightstown	ミスターロビン	Belong to Me	ダンジグ	56.5	A	C	B	B	B	B	1	消	17
16	ミッキースピリット	松若	ディーブインパクト	ディーブインパクト	Invincible Spirit	ダンジグ	54	E	C	C	C	D	E	16	消	18
17	タイセイアベニール	松山	ペーカバド	ダンジグ	ブライアンズタイム	ロベルト	56	D	B	C	B	B	D	13	消	10
18	クリノガウディー	鮫島駿	スクリーンヒーロー	ロベルト	ディアブロ	ヘイロー	58	B	D	B	C	C	D	6	消	16

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
例年は京都競馬場で行われているが今年は中京競馬場での開催。中京芝1200mという条件自体が非常に厄介な難しい舞台ではあるが、今年は連続開催の影響でカオスな馬場になっている感じ。もう騎手でさえどこを通過していいかわからない馬場になりそうで、土曜日の馬場を見ないと何もわからなそう。馬場バイアスを見て狙えれば買えるレースになりそうですが、現時点ではさっぱりよくわからない感じです。宝くじの方が当たる可能性は高いぐらいな感じがします。
本命は◎ リバティハイツ が面白そう。オパールSは初のスプリント戦ながら突き抜けて完勝。前走の京阪杯は馬券に絡めなかったが、位置を落として差し遅れただけで最後はしっかりと伸びていた。オパールSの内容からもタフ馬場は得意に見えますし、今の中京の馬場でタフな馬場への適性が問われるレースになれば穴を開けてもいいか。
REVIEW

モズスーパーフレアが想定通りに逃げたが、やはり北村友一騎手の逃げということもあって速いペースにはならず。それでもタフな馬場ということもあって外から差し込んできた馬が有利になった感じ。勝ち味に遅かったシヴァージが福永騎手のエスコートで鬱憤を晴らす勝利となった。

高松宮記念と同じ中京芝1200mで行われたことで今回の上位馬は本番でも人気になりそうだが、どうもそこまでレベルが高かったレースには思えない。本番はどれくらいのレベルになるかだが、マイル路線から短縮してきたような馬の方が優勢な感じがします。

※文字色の意味2021/1/31

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

コース特徴
直線が長く末脚の質が問われやすい
馬場レベル&バイアス
D=コース替わりで馬場は回復しそう。バイアスは土曜で判断
血統傾向
スプリント戦の中ではサンデー系の良さが活かしやすい舞台。今の馬場はかなり荒れていることでサンデー系の良さは活かしにくいかも。もっとタフ馬場が得意な血統が有利か。
展開
モズスーパーフレアが逃げる展開。ただ、北村友一騎手のテン乗りとなるとそこまで飛ばしては逃げないか。平均ペースで落ち着きそう。
データなど特記事項
今年は京都開催ではないのでデータは使用できない。
危険な馬
クリノガウディー=昨年の高松宮記念では幻の勝利となったが、タフ馬場な上にかなりのスローペースになって追走力が問われなくなったのが良かった感じ。その後のレースを見ても追走力が問われると微妙な感じで、本質的にはスプリント適性が無い感じがします。
妙味大な馬
特になし
穴馬
リバティハイツ=オパールSは初のスプリント戦ながら突き抜けて完勝。前走の京阪杯は馬券に絡めなかったが、位置を落として差し遅れただけで最後はしっかりと伸びていた。オパールSの内容からもタフ馬場は得意に見えますし、今の中京の馬場でタフな馬場への適性が問われるレースになれば。
想定時計
上3F下3F
1:07:933.334.6
想定ラップタイム
12.2 -10.3 -10.8 -11.3 -11.5 -11.8

Copyright (C) 2014 - KAZ
AllRightsReserved.
本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

枠番	名前	騎手	印	総合評価	想定人気	PREVIEW	結果	REVIEW
1	ザイツィンガー	和田竜	消	D	17	準オープンやオープン昇級後のレースぶりを見ても、タフ馬場で末脚を活かす競馬ならそこそこやれそうな感じ。ただ、さすがに今回の相手では厳しい感じがします。	8	タフ馬場が得意で末脚の破壊力はすでにオープン上位。今回は内枠から捌くのに手間取ったのが痛かった。差しが決まるオープン戦ならすぐにも穴を開けるはず。
2	ライトオンキュー	古川	消	C	3	キーンランドCはなかなか強い2着だったが、スプリンターズSでは案外なレース内容。昨年シーズンも休み明けでは動けずに、使うことでよくなった大型馬。どう考えても高松宮記念が目構だと思えますし、果たして休み明けで走れる状態にあるんだろうか。	2	馬場の悪い内側を走ってなかなか強い勝ち方。今回のようなタフな馬場で追走スピードをそこまで問われないようなレースがいいんだろう。本書はベースや馬場、乗り方次第。
3	コントラチェック	池添	消	D	9	マイル前後の距離でスピードを活かす競馬で活躍してきたが、前走でスプリント戦に予先を移してきた。その前走は若干前が詰まった部分もあったが、それでも物足りないレースぶり。さすがにここでは厳しいんじゃないだろうか。	11	最初から下げる気で溜める競馬で臨んできた。直線ではインを通ったのが厳しかった感じ。普通の馬場でオープン戦ぐらいならやれても良さそうだが。
4	セイウンコウセイ	幸	消	D	15	高松宮記念で何度も馬券に絡んでいるように中京コースに適性があるのは間違いないはず。ただ、高松宮記念やセントウルSを見てもさすがに衰えが始めている感じがしますし、今回は休み明けとなるとさらに厳しいか。	5	先行して馬場の悪い部分を走っての5着なら上出来。もう重賞で馬券圏内になるのは厳しい感じがするが、よく頑張っている。
5	ラヴィングアンサー	吉田豊	消	D	11	じっくり脚を溜める競馬で追い込み策を見せてこそその馬。前走は展開が完璧にハマった感じがあり、果たして重賞レベルで自分の競馬をしてどこまでやれるかという感じはあり。	9	後方からスムーズに捌けず。重賞では能力的に厳しい感じもします。やはり差しが決まるオープン戦でこそその馬という感じ。
6	カイザーメランジェ	太宰	消	D	18	前走で徐々に復調気配を見せたが、レースレベルを考えるとあんまり評価はできないか。函館スプリントステークスは薬物による大量除外の上にスローペースにも恵まれた。さすがにここでは厳しいだろう。	13	荒れたインを走ってそれなりにには走れている。復調はしてきている感じで、オープンぐらいならやれてもいいんじゃないだろうか。
7	エイティーンガール	坂井	消	B	8	キーンランドCはタフな馬場を物ともせず差し切り勝ち。スプリンターズSは展開こそ向いたが、直線でどん詰まりになって不完全燃焼で終わった。能力的にはここでも上位だろうが、こういうタイプの馬は最近は過剰人気になる。どこまで評価をするべきか。	14	最後に外に出したが全く伸びずに終了。陣営コメント通りに左回りがダメなんじゃないだろうか。忘れられた頃に右回りの差しが決まる条件で狙ってみたい。
8	プリモシーン	岩田望	消	D	14	マイルの距離でも昨年シーズンは衰えが明らかに見えていた感じ。スプリント戦に使ってきた前走でも何もできませんでしたし、もう馬として衰えが始まっているんだろう。ここでも厳しい。	12	追走に苦労して最後は伸びあぐねた。もうどう考えてもこの距離が忙しいんだろう。引退まであと1戦ぐらいだろうが、マイルに戻すなら印は打ってみても。
9	ヴェスターヴァルト	富田	消	D	7	2連勝でオープン入り。ノヴェリスト産駒の持続力型のマイラーという感じの馬で、1400mはベストに近いと思うが1200mとなるとどうだろう。未勝利戦以来の距離になりますし、ちょっと短い感じがします。	7	抜群のスタートから馬なりで先行できたが、追って伸びを欠いたあたりこの距離では若干干渉しそう。タフ馬場の1400mぐらいがベストじゃないだろうか。
10	ルッジェーロ	藤岡佑	消	D	12	前走は芝替わりでいきなり激走して穴を開けた。ただ、前走は完全に展開が向いた感じがありますし、その前走でもラヴィングアンサーには伸び負けっていた。そのラヴィングアンサーに印を打たないとなるとこの馬も厳しいか。	6	馬場を活かして最後は追い込んできたがさすがに届かなかった。芝もこなせるがちょっとスピード不足な感じはあり。オープンまでが限界か。
11	リパティハイツ	団野	◎	B	10	オパールSは初のスプリント戦ながら突き抜けて完勝。前走の京阪杯は馬券に絡めなかったが、位置を落として差し遅れただけで最後はしっかりと伸びていた。オパールSの内容からもタフ馬場は得意に見えますし、今の中京の馬場でタフな馬場への適性が問われるレースになれば穴を開けてもいいか。	4	3コーナーで位置を落としたりロスが非常に痛かった。馬場をこなして最後はしっかりと伸びていますし、スムーズなら勝ち負けになっていただろう。
12	ラウダシオン	Mデムーロ	○	B	2	NHKマイルカップは展開や馬場が向いただけで本質的には1400m以下でこそその馬。馬格があって距離短縮ローテになりますし、この条件は合いそうなイメージもある。ただ、古馬の一般級のスプリント戦は初めてになりますし、ちょっとやってみないとわからない部分はある。	3	スツと位置をとってほぼ完璧な競馬ができていた。これで外からシヴァージに差されたのはちょっと底を見せる結果か。本質的には1400mぐらいが合いそう。
13	シヴァージ	福永	▲	B	4	タフ馬場で差しが決まる条件ならGIでもやれるぐらいの馬。ただ、じっくり構えて差す競馬じゃなきゃダメなタイプで、とにかく馬場や展開に左右される。今回は馬場も展開も悪くなさそうですし、中京マイスターの福永騎手が乗るという点もプラス。ただ、どう考えても玄人気になるのでどこまで評価するべきか。	1	いつもより位置が取れて完璧なコース取りから差し切り勝ち。今回のような馬場が良かったとはいえ福永騎手の凄さが存分に見れた一戦。本書もこのような馬場になればチャンスはある。
14	トゥラヴェスーラ	岩田康	消	D	5	前走は内枠から完璧な競馬ができてのオープン勝ち。どうも重賞での走りを見ていると、速い流れでは一瞬の脚だけしか使えずに伸びあぐねる印象。あまりにも前走が完璧にいきすぎた感じですし、果たして今回はどうだろうか。	15	じっくり溜めなきゃダメな馬で、序盤から出たていたらガツンとかかってレースにならず。内枠で脚をためる競馬でこそその馬だろう。
15	モズスーパーフレア	北村友	消	B	1	昨年の高松宮記念を勝利しているが、とにかく一本調子なスピードを活かしてこそその馬なので本質的には中京コースは合わないはず。高松宮記念はスローペースが完璧にハマった感じか。今回は乗り替わりの北村騎手と手が合うイメージがありませんし、明らかに叩き台で太め残りになりそうとなると信頼はできないか。	17	北村騎手がベースメイクを間違えた部分もあるが、それでもさすがに負けすぎ。もうこの馬は馬場を気にせずにラチを頼った方が良かった感じはする。本書では抑えておいた方が良さそう。
16	ミッキースピリット	松若	消	E	16	オープンに上がってから明らかに頭打ちな印象。ここでは厳しいだろう。	18	もう馬として終わってしまった感じはする。
17	タイセイアベニール	松山	消	D	13	オープン好走時はそれなりにやれる馬と見ていたが、どうも夏ぐらいから下降気味な成績。セントウルSこそ惜しい4着だったが、それ以外のレース内容を見てもあんまり評価できる感じはしないが。	10	最後方から最内を突くという松山騎手の奇策戦法。馬の能力として厳しかったと思うが、こういう乗り方は評価できる。
18	クリノガウディー	鮫島駿	消	D	6	昨年の高松宮記念では幻の勝利となったが、タフ馬場な上にかなりのスローペースになって追走力が問われなくなったのが良かった感じ。その後のレースを見ても追走力が問われると微妙な感じで、本質的にはスプリント適性がない感じがします。	16	もともとスプリント適性がない馬で、こういう積極策をしては脚がたまらない。本書は溜める競馬で差しが効く馬場になれば大穴を開けても。